

特集

青少年吹奏楽団 & 町議会

昭和41年、当時瑞穂中学校の音楽の教員だった牟田先生が卒業生のためにつくったことがきっかけで誕生した瑞穂青少年吹奏楽団。全日本吹奏楽コンクールで4度の金賞受賞や海外での招待演奏など輝かしい実績があります。今でも町のイベントでは素晴らしい演奏を披露して皆さんを楽しませてくれています。

日本一になった時の思い出は一生忘れない。

Q入団のきっかけは？

— 中学の吹奏楽部の練習が終わると、瑞穂青少年吹奏楽団の練習に参加するのが当たり前のような状況だったので… なんとなくそのまま入団したって感じですね。

— そうそう、私も中学2年から必然的に準団員になってました(笑)。

— 演奏を見に行って自分もやってみたいと思いましたが、「高校から楽器を始めても大丈夫かなあ」って不安もありました。そんな時、牟田先生が戻ってくると思ったので入団を決めました。

Q小学生の時に産業祭でドラクエの曲を演奏していた「身近に楽団があるんだ。なんかいいなあ」って漠然と思ったことを思い出しました。それも入団した理由かな。

— 小学生の時に産業祭でドラクエの曲を演奏していた「身近に楽団があるんだ。なんかいいなあ」って漠然と思ったことを思い出しました。それも入団した理由かな。

Q練習の様子はどうでしたか？

— 牟田先生も臼井先生もしっかりとした理論があったので、分かりやすかったですね。

— 厳しいより自分の上達が分かってうれしかったです。そんな練習時間でした。

Q忘れられない思い出は？

— 横田基地の司令官交代式という重要な公式行事での演奏。緊張したけどいい思い出です。

— 横田基地でのミュージカルの伴奏。英語が苦手な最初は演奏のタイミングが分からなかったけど、しっかり周りの音や声を聞いていたらできるようになりました。「何とかなるもんだなあ」って教訓を得ました。

— 3回ほど海外から招待されて演奏しました。それも思い出深いです。



【団員紹介】

北爪寛之さん

— 高校から入団して、初めて楽器を握り、今は団長として奮闘する努力のチューバ奏者。

臼井弘美さん

— 次の世代を育てるために「サウンドスミィー」を立ち上げ奮闘する熱きホルン奏者&楽団2代目指揮者。

八木秀子さん

— 横田基地、海外での演奏そして今も… 楽団と歩み続ける信頼のクラリネット奏者。

川島智徳さん

— 小学生の時に聞いたドラクエの演奏が印象的で話してくれた魅惑のトロンボーン奏者。

Q今後の目標は？

— 今の活動を続けていくことかな。もっと上手になる。

— 次の時代を担う楽団員の卵を育てること。今、「サウンドスミィー」という楽団を立ち上げて子どもたちに教えています。初心者でも大歓迎です。

Q楽団を作ったきっかけは？

— 当時、近隣の高校で吹奏楽部がある高校がなく、演奏したいと願う卒業生の思いに応えようと思ってつくりました。

Q指導方針は？

— 基本の徹底でした。それから掃除、あいさつなどは厳しく指導してましたね。

— 演奏会をたくさんしました。一人で演奏するよりみんなと演奏するほうが楽しいですからね。それに、目指す目標があることや、みんなに喜んでもらう機会をつくるのが、やりがいや生きていく自信につながると思います。

Qこれからの楽団に期待することはなんですか？

— 自分が上手になったら、どうして上手になったかの理由を思い出して、次の世代を育ててほしい。

Q瑞穂町の名誉町民として一言お願いします

— 瑞穂町が音楽のあふれる町になってほしい。その可能性をこの町の人たちは持っていると思います。

ご協力ありがとうございました。



牟田 久壽さん プロフィール

— 国立音楽大学卒業。昭和41年瑞穂中学校の音楽教師として赴任。44年に青少年吹奏楽団を創設。吹奏楽全国コンクール金賞4回、銀賞2回受賞。61年より警視庁音楽隊長に就任。平成22年瑞穂町名誉町民になる。

— 国立音楽大学卒業。昭和41年瑞穂中学校の音楽教師として赴任。44年に青少年吹奏楽団を創設。吹奏楽全国コンクール金賞4回、銀賞2回受賞。61年より警視庁音楽隊長に就任。平成22年瑞穂町名誉町民になる。